

千曲川洪水ハザードマップについて

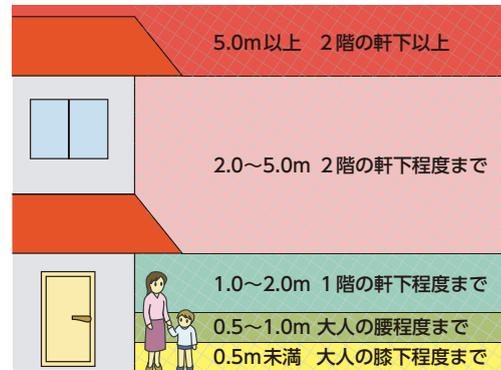
千曲川周辺地域にのみ、長野県が水防法に基づき指定した「浸水想定区域」を色分けして記載しております。

千曲川が、おおむね100年に一回降ると予想される雨量によって増水し、堤防が決壊した場合の洪水氾濫予想に基づいて、浸水の範囲とその深さを示しております。

河川の氾濫の恐れがあるときは、避難準備情報及び避難勧告、並びに避難指示が出ますが、各地域での雨の降り方が異なりますので、日頃から家の周りの浸水状況に注意し、危険と判断したら、早めの自主避難をしましょう。

浸水想定区域

浸水の深さの目安



雨の降り方の程度

★特に、1時間40mm以上、連続100mm以上の雨が降るときには、注意が必要です

発表される気象情報 → 大雨洪水注意報 大雨洪水警報 記録的短時間大雨情報

1時間雨量 → 40mm以上 60mm以上 100mm以上



やや強い雨

強い雨

激しい雨

非常に激しい雨

猛烈な雨

1時間に
10mm以上～
20mm未満

1時間に
20mm以上～
30mm未満

1時間に
30mm以上～
50mm未満

1時間に
50mm以上～
80mm未満

1時間に
80mm以上

ザーザーと降ります。地面からはね返りで足下が濡れます。この程度の雨でも長く続くときは注意が必要です。

どしゃ降りです。傘をさしていても濡れます。側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まります。

バケツをひっくり返したように降ります。道路が川のようになります。山崩れ・がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要です。

滝のように降ります。水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなります。土石流が起こりやすく多くの災害が発生します。

息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じます。雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、嚴重な警戒が必要です。